

キャンパス名	千葉キャンパス				
授業番号	10002001				
授業名	共生論	形態	講義	単位	2
担当教員	藤森 雄介				
開講学期	2025年度 後学期	曜日・時限	水曜5限		
授業目的	自校教育の中核である本科目を履修することで、受講生が建学の精神である「利他共生」を正しく理解するとともに、本学で学ぶことの意義や意味を共に考えることを通じて、自らを肯定的に捉えて有意義な学生生活を過ごしていける契機となる事を目的とする。				
授業内容	「共生論」とは、言い換えれば「淑徳学入門」である。仏教の教えに基づく「利他共生(りたきょうせい)」を建学の精神に持つ淑徳大学について、過去から学び(歴史・思想)、現在を見つめ(OB.OGからのメッセージ)、本学で学生生活を送るすべての受講生が未来を志向するために、共に学び、共に考える科目である。				
到達目標	「利他共生」をキーワードとして、また「淑徳学」という縦糸で綴られた「過去」と「現在」の学びを通じて、現在の自分自身を見つめ直し、4年後の将来像を見据え、各自が意義のある学生生活を送るための意思を持つことができるようになることを目標とする。				
ディプロマポリシーとの関連性	＜大DP1-（４）＞自己管理能力、倫理観、リーダーシップ、市民としての社会的責任、生涯学習力を修得している。				
授業形態	基本的には講義形式で行うが、第12回及び第13回は外部講師として、大巖寺副住職及びOB.OGの方2名をお招きする予定である。また、第14回に実施予定の確認テストについては、具体的な「問題の作成」を受講生に担ってもらうことで、参加型の授業としていきたい。なお、VTR等の視聴覚教材も適時使用していきたい。 【対面授業】 基本的には講義形式の授業を行うが、アクティブラーニングの手法を活用する。学生から質問、意見を求めたり、学生によるプレゼンテーションの機会を設けていく。 ■外部講師を招聘する授業回について ※外部講師（ゲストスピーカー）は、90分授業の一部分のみを担当します。 ※外部講師招聘日は外部講師の都合により変更となる可能性があります。				
事前・事後学習の所要時間	本科目では、各授業回に2時間の事前学習、2時間の事後学習を必要とする。 合計15回の授業で、事前事後学習60時間となる。				
テキスト	※この科目では指定の教科書はありません。授業内で使用する資料等については、別途授業内でご案内いたします。				
評価方法	出欠は毎回確認するが、単に授業に出席しているだけでは単位の取得とならない。「淑徳人からのメッセージ」に対するリアクションペーパー、講義内容に対する「問題の作成」、自身の将来像に関するミニレポート、確認テストの合計点で評価を行う。 ※リモート授業の場合は、毎回提示する課題の提出を持って、評価を行う。				
評価基準	「淑徳人からのメッセージ」に対するリアクションペーパー@5点×4回=20点、講義内容に対する「問題の作成」@3点×7回=21点、自身の将来像に関するミニレポート9点、確認テスト50点の、計100点中の得点で評価を行う。 S:100～90、A:89～80、B:79～70、C:69～60、D:60未満				
試験・レポート等のフィードバック	「課題の意図する点」、「この課題から何を学び取ってほしいか」等について、授業内に適時行っていく予定である。				
注意事項及び履修条件	特に1年生の受講を念頭においた講義内容を予定している。縁あって淑徳大学に入学した学生諸君の意欲を持った受講を期待する。 ※なお、現在テキスト教材を制作中であり掲載されているシラバスも(仮)である。正式なシラバスは初回に提示予定である。				
S：100～90、A：89～80、B：79～70、C：69～60、D：60未満					
第1回					
事前学習	ウェブ上で公開された「講義概要」をしっかりと読んでくる。またその中で聞きなれない言葉やわからない用語があれば、事前に調べて理解しておくようにする。				
授業内容	「淑徳学」を学ぶことの意義、授業の進め方、確認テストの「問題の作成」の理解、評価方法等 ※「初回アンケート」の実施				

事後学習	オリエンテーションで聞かされた内容をもう一度確認する。特に「問題の作成」方法について、不明な点があれば次回に速やかに質問できるように準備しておく。
参考文献	配付資料
第2回	
事前学習	「淑徳大学」のホームページの全体に事前に目を通しておくこと。また、前回提示されたテキストの該当部分及び事前に配布された資料等があれば、しっかりと読んでその内容を理解しておく。
授業内容	・授業内容 テーマ: 大乗淑徳学園及び淑徳大学の沿革 学園及び大学の設立当時の社会状況とも照らしながら建学の精神を理解するとともに、各キャンパスの現状や就職状況にも触れることで大学の全体像を理解する。
事後学習	今回の講義内容を踏まえて、確認テストに適切であると考えられる「問題」を3問作成する(次回、提出)。
参考文献	
第3回	
事前学習	「建学の精神」をキーワードに、3校以上の大学の「建学の精神」を調べてみる事。また、前回提示されたテキストの該当部分及び事前に配布された資料等があれば、しっかりと読んでその内容を理解しておく。
授業内容	・授業内容 テーマ:淑徳大学の基礎知識① 「建学の精神」とは何か、また、本学における建学の精神とは何かについて、「淑徳大学の学則 第一条」の内容を通じて理解する。
事後学習	今回の講義内容を踏まえて、確認テストに適切であると考えられる「問題」を3問作成する(次回、提出)。
参考文献	
第4回	
事前学習	「社会福祉」とは何か、というテーマについて、自分なりの意見を簡単に整理してみること。また、前回提示されたテキストの該当部分及び事前に配布された資料等があれば、しっかりと読んでその内容を理解しておく。
授業内容	・授業内容 テーマ: 淑徳大学の基礎知識② 「建学の精神」の中で述べられている「社会福祉」について、日本国憲法第25条に基づく、現代日本における社会福祉の定義を理解する。
事後学習	今回の講義内容を踏まえて、確認テストに適切であると考えられる「問題」を3問作成する(次回、提出)。
参考文献	
第5回	
事前学習	「教育」とは何か、自分なりの考えを簡単に良いのでまとめておくこと。また、前回提示されたテキストの該当部分及び事前に配布された資料等があれば、しっかりと読んでその内容を理解しておく。
授業内容	・授業内容 テーマ: 淑徳大学の基礎知識③ 「建学の精神」の中で述べられている「教育」について、近代ヨーロッパの社会事情から理解を深める。また、本学の教育の象徴である「善財童子」について、その由来を理解する。
事後学習	今回の講義内容を踏まえて、確認テストに適切であると考えられる「問題」を3問作成する(次回、提出)。
参考文献	
第6回	
事前学習	「宗教」について、自分なりの考えを簡単に良いので整理しておくこと。また、前回提示されたテキストの該当部分及び事前に配布された資料等があれば、しっかりと読んでその内容を理解しておく。
授業内容	・授業内容 テーマ: 仏教の基礎知識① 「建学の精神」で述べられている「大乗仏教を理解するための基礎知識として、古代インド社会において、如何にして仏教が成り立ったのかについて、共に学ぶ。
事後学習	今回の講義内容を踏まえて、確認テストに適切であると考えられる「問題」を3問作成する(次回、提出)。
参考文献	

第7回	
事前学習	仏教の開祖、「ブッダ」について、自分なりの知識を簡単に良いので整理しておくこと。また、前回提示されたテキストの該当部分及び事前に配布された資料等があれば、しっかりと読んでその内容を理解しておく。
授業内容	・授業内容 テーマ:仏教の基礎知識② 古代インド社会で生まれた仏教が、どのような経路をたどってアジア地域に伝播していったのかについて、共に学ぶ。
事後学習	今回の講義内容を踏まえて、確認テストに適切であると考えられる「問題」を3問作成する(次回、提出)。
参考文献	

第8回	
事前学習	日本の戦前期の「社会事業」について、自分なりの知識を簡単に良いので整理しておくこと。また前回提示されたテキストの該当部分及び事前に配布された資料等があれば、しっかりと読んでその内容を理解しておく。
授業内容	・授業内容 テーマ: 長谷川良信の生涯① 長谷川良信の事績のうち、特に社会福祉領域での活躍について、当時の社会状況等も踏まえつつ共に学ぶ。
事後学習	今回の講義内容を踏まえて、確認テストに適切であると考えられる「問題」を3問作成する(次回、提出)。
参考文献	

第9回	
事前学習	戦前期の「女子教育」について、自分なりの考えを簡単に良いので整理しておくこと。また前回提示されたテキストの該当部分及び事前に配布された資料等があれば、しっかりと読んでその内容を理解しておく。
授業内容	・授業内容 テーマ: 長谷川良信の生涯② 長谷川良信の事績のうち、女子教育について、輪島聞声の「淑徳」に関する考え方等も踏まえつつ、共に学ぶ。
事後学習	今回の講義内容を踏まえて、確認テストに適切であると考えられる「問題」を3問作成する(次回、提出)。
参考文献	

第10回	
事前学習	わが国で政策的に行われた「ブラジル移民」について、自分なりの知識を簡単に良いので整理しておくこと。また前回提示されたテキストの該当部分及び事前に配布された資料等があれば、しっかりと読んでその内容を理解しておく。
授業内容	・授業内容 テーマ: 長谷川良信の生涯③ 長谷川良信が晩年に心血を注いだ事業の一つである「ブラジル開教」、その今日的意味を共に理解する。
事後学習	今回の講義内容を踏まえて、確認テストに適切であると考えられる「問題」を3問作成する(次回、提出)。
参考文献	

第11回	
事前学習	仏教における「縁起」というキーワードについて、自分の知識を簡単に良いので整理しておくこと。また前回提示されたテキストの該当部分及び事前に配布された資料等があれば、しっかりと読んでその内容を理解しておく。
授業内容	・授業内容 テーマ: 仏教における「共生」の思想 「共生」という用語は難解である。「きょうせい」と読む場合もあれば、「ともいき」、あるいは「ぐしょう」とも読む。淑徳大学の中核となる理念である「利他共生」の原点である「共生」について、その本来の意味を、仏教思想を手がかりに学ぶ。
事後学習	今回の講義内容を踏まえて、確認テストに適切であると考えられる「問題」を3問作成する(次回、提出)。
参考文献	

第 1 2 回	
事前学習	前回提示されたテキストの該当部分及び事前に配布された資料等があれば、しっかりと読んでその内容を理解しておく。
授業内容	・授業内容 テーマ: 特別講演① 外部講師:大蔵寺副住職 外部講師（ゲストスピーカー）は90分授業の一部分のみを担当する。 宗教者として、また大蔵寺文化苑を構想した大学寺住職としての長谷川良信について、大蔵寺副住職に登壇頂いて、大蔵寺の歴史等も含めてお話しいただく。 その後、質疑応答や補足説明を予定
事後学習	今回の講義内容を踏まえて、確認テストに適切であると考えられる「問題」を3問作成する(次回、提出)。
参考文献	

第 1 3 回	
事前学習	前回提示されたテキストの該当部分及び事前に配布された資料等があれば、しっかりと読んでその内容を理解しておく。
授業内容	・授業内容 テーマ: 特別講演② 外部講師:本学OB.OG、2名を予定。 外部講師（ゲストスピーカー）は90分授業の一部分のみを担当する。 本学の卒業生2名に登壇して頂き、在学当時の学生生活や、そこでの経験がどのように現在の仕事に役立っているのか等をお話して頂く事で、受講生にとって「近い将来像」としての「淑徳人」のモデルを提示し、本学で学ぶ意味を、講演を通じて理解する。 その後、質疑応答や補足説明を予定。
事後学習	OB.OGの方々が話してくれた内容を、もう一度自分なりに整理しておく。
参考文献	

第 1 4 回	
事前学習	これまでの講義内容を振り返り、確認テストに備える。
授業内容	・授業内容 テーマ:確認テスト 講義内容を踏まえて受講生が作成した「問題」の中から、50問を選んで出題する。
事後学習	自己採点をして、振り返りを行う。
参考文献	

第 1 5 回	
事前学習	再度、先週行われた確認テストの内容を振り返っておく。
授業内容	・授業内容 テーマ: 確認テストの答え合わせ及びまとめ 確認テストの答え合わせ及び「淑徳学」を学ぶ意義の再確認、また今後の、在学中に行われる「自校教育」の展開等について理解する。
事後学習	採点の結果、特に誤りのあった部分について、知識の修正を行っておく。
参考文献	

※この他に試験が実施される場合があります。担当教員の指示に従ってください。

ディプロマポリシー	<大DP-1> 【社会の構成員としての基本的知識・技能・能力】 <大DP1-（１）> 日本語や英語のコミュニケーション能力を修得している。 <大DP1-（２）> 情報リテラシーや数量的スキルを修得している。 <大DP1-（３）> 課題発見・問題解決能力を持ち、主体性をもって協力し合う態度を身に付けている。 <大DP1-（４）> 自己管理能力、倫理観、リーダーシップ、市民としての社会的責任、生涯学習力を修得している。 <大DP1-（５）> 人間、社会、国際、自然等に関する広い知識と理解を有している。 <大DP-2> 【専門教育分野における知識・技能・能力】 <大DP2-（１）> 自らが学んだ学位プログラムの基礎となる原理・原則を理解し、それに基づく体系的専門知識を修得している。 <大DP2-（２）> 修得した体系的専門知識を、実践の場において活用する技能や態度を修得している。
-----------	---